



ポリマーセメント系塗膜防水材料
カナエハイボンドコート



KANAE CHEMICALS CO.,LTD.

カナエハイボンドコートは高分子共重合エマルジョン（ハイボンドコート#300）とセメント系無機質骨材を主成分とする粉体（ハイボンドコートP）を混合することにより、強靱で耐候性、耐久性、耐水性のある弾性塗膜を形成する複合防水材です。防水層は柔軟で弾性に富んでいるため下地の追従性にすぐれています。またエマルジョンタイプですので安全衛生、火気、公害の心配がなく、施工場所を選ばず工期短縮が可能です。

施工性

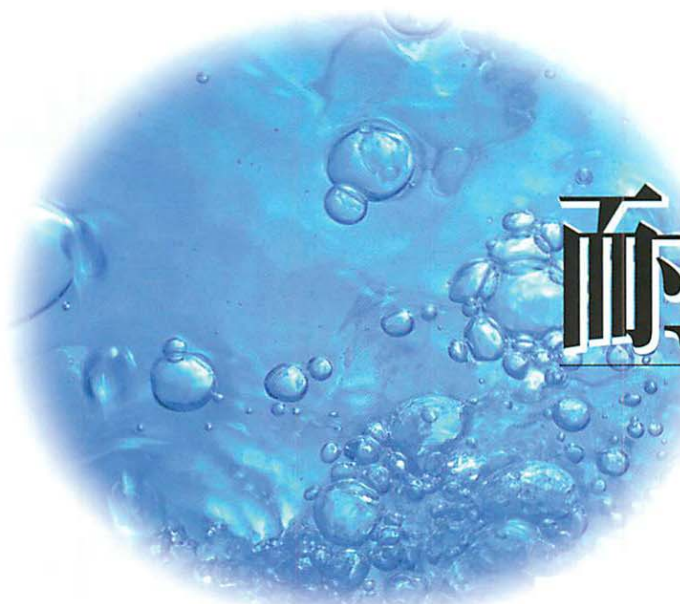
Easy-Execution



耐久性

High-Endurance





耐水性

Water-Proof

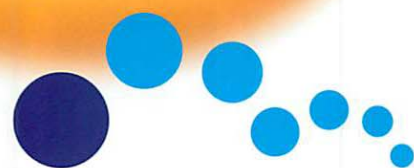
安全性

Safety



耐候性

Weather-Proof



ポリマーセメント系
塗膜防水材料

カナエハイボンドコート

HI-BOND COAT

用 途

Use

- ◎コンクリート構造物の床、壁、屋根防水。
- ◎テラス、ベランダ、屋上などの防水。
- ◎ウレタン等、旧防水層の改修工事。

特 徴

Feature

- ① 柔軟性に富んだ塗膜ですので、下地の伸縮、亀裂に対しての追従性に優れています。
- ② 水性エマルジョンタイプのため安全衛生、火気、公害などの懸念がありません。
- ③ 耐水性、耐久性、耐候性、耐アルカリ性、耐熱性にすぐれています。
- ④ クロスおよび不織布との複合により耐久性のある防水層をつくります。
- ⑤ 混合液はチクソタイプのため斜面や壁面の施工が可能です。
- ⑥ コンクリート、モルタルをはじめ、ウレタン、ゴムシート等各種の下地に強力な接着を示します。
- ⑦ 作業性が良く、湿潤面であっても施工することが可能です。



性状と物性

Natures

性状

	ハイボンドコート #300 (樹脂液)	ハイボンドコートP (粉体)
主成分	共重合樹脂エマルジョン	無機質粉体
外観	乳白色	灰色
固形分 (%)	55±2	100
粘度 (mPa・s/23℃)	1,000～2,000	—
樹脂液/粉体 混合比	18kg / 15kg	
混合物の外観	ペースト状	
混合物の可使時間 (23℃)	2 時間以内	
全固形分	75.5%	
硬化塗膜比重	1.71	

物性

	試験値	条 件
付着強さ (N/mm ²)	1.4	モルタル20℃×7日間養生
湿潤面接着力 (N/mm ²)	1.2	モルタル20℃×48時間 (水中)
伸び (%)	280	JIS K-6251
引張強度 (N/mm ²)	2.9	JIS K-6251
引裂強度 (N/mm)	2.4	JIS K-6252
促進耐候試験	異常なし	JIS K-5600 1000時間
耐水試験	良好	20℃×120時間
加熱試験	異常なし	70℃×120時間
耐アルカリ試験	異常なし	10%NaOH 9日間
耐圧透水試験 (g)	0.0	JIS A-1404 3kgf/cm ² 1ヶ月養生

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書(HMR-1)

カナエ化学工業株式会社

工法名:HMR-1 軽歩行用クロス無

工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取り除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。			
プライマー	① カナエカチオンプライマーを規定範囲内で希釈。 ② 攪拌混合充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	1時間	水希釈 100%
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ハイボンドトップは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.50	24時間養生	無希釈

ー 使用材料 ー
 カナエカチオンプライマー 16kg
 ハイボンドコート 33kgセット (ハイボンド#300(樹脂) 18kg+ハイボンドP(粉体) 15kg)
 ハイボンドトップ 20kg

※プライマーと他工程のローラーや刷毛は共用しないで下さい。

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書(HM-1)

カナエ化学工業株式会社

工法名:HM-1 非歩行用クロス無

工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取り除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。			
プライマー	① カナエカチオンプライマーを規定範囲内で希釈。 ② 攪拌混合は充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	1時間	水希釈 100%
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ケートッププライナー-CSKは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	24時間養生	無希釈

ー 使用材料 ー
 カナエカチオンプライマー 16kg
 ハイボンドコート (ハイボンド#300(樹脂) 18kg+ハイボンドP(粉体) 15kg)
 ケートッププライナー-CSK 15kg

※プライマーと他工程のローラーや刷毛は共用しないで下さい。

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書(HMR-2)

カナエ化学工業株式会社

工法名:HMR-2 軽歩行用クロス有

工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。			
プライマー	① カナエカチオンプライマーを規定範囲内で希釈。 ② 攪拌混合は充分に行う。 ③ ロールまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	1時間	水希釈 100%
下塗り クロス貼付け	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ 混合した塗材の半分を下地へローラーまたは左官ハケにより均一に塗布し、クロスをのせる。 次に残りの塗材をその上に流し、ローラーまたは左官ハケにより押さえながら塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/4
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ロールまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ロールまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ハイボンドトップは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマーゼルで充分に行う。 ③ ロールまたは刷毛で均一に塗布する。	0.50	24時間養生	無希釈

ー 使用材料

カナエカチオンプライマー 16kg
 ハイボンドコート 33kgセット (ハイボンド#300(樹脂) 18kg+ハイボンドP(粉体) 15kg)
 ハイボンドクロス各種 104cm×100m巻き
 ハイボンドトップ 20kg

※プライマーと他工程のローラーや刷毛は共用しないで下さい。

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書(HM-2)

カナエ化学工業株式会社

工法名:HM-2 非歩行用クロス有

工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。			
プライマー	① カナエカチオンプライマーを規定範囲内で希釈。 ② 攪拌混合は充分に行う。 ③ ロールーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	1時間	水希釈 100%
下塗り クロス貼付け	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ 混合した塗材の半分を下地へロールーまたは左官ハケにより均一に塗布し、クロスをのせる。 次に残りの塗材をその上に流し、ロールーまたは左官ハケにより押さえながら塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/4
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ロールーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ロールーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ケートップライナーCSKは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ロールーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	24時間養生	無希釈

ー 使用材料 ー
 カナエカチオンプライマー 16kg
 ハイボンドコート 33kgセット (ハイボンド#300 18kg+ハイボンドP 15kg)
 ハイボンドクロス各種 104cm×100m巻き
 ケートップライナーCSK 15kg

※プライマーと他工程のロールーや刷毛は共用しないで下さい。

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書(HMR-1K)

カナエ化学工業株式会社

工法名:HMR-1K 通期緩衝 軽歩行用

工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取り除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。			
カナエシート (通期緩衝シート) 貼付け	① カナエシート用接着剤を原液のままローラーまたは刷毛で均一に塗布した直後、カナエシートを貼り付ける。立ち上がり部分から5～10cm程度間隔を取り、途中歪み等が発生した場合はカナエシートを切断し、再度修正し貼り付ける。貼付け後、カナエシート上を空ローラーで転圧し密着させる。 ② カナエシート外周部を変性シリコーンシーリング材で押さえる。 ③ 立ち上がり面にはカナエシートを貼らずハイボンドクロスを貼り付ける(ハイボンド#300/ハイボンドP/水=18/15/3で施工する) カナエシートとクロスのラップ幅は最低10cm確保する。 ④ カナエシートを貼付け後、切り込みを入れ脱気筒を設置する(約50㎡当たり1個) ⑤ カナエシート継ぎ目にカナエテープを貼り付ける。カナエテープを貼り付け部分に補強用ハイボンドクロスを貼る。			
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ハイボンドトップは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.50	24時間養生	無希釈

一 使用材料

カナエシート用接着剤
カナエシート
カナエテープ
補強用ハイボンドクロス
ハイボンドクロス 各種
ハイボンドコート
ハイボンドトップ

18kg
1m×50m巻き
7.5cm×20m巻き
20cm×100m巻き
104cm×100m巻き
33kgセット (ハイボンド#300(樹脂) 18kg+ハイボンドP(粉体) 15kg)
20kg

カナエ ハイボンドコート 施工仕様書 (HM-1K)

カナエ化学工業株式会社

工法名: HM-1K 通期緩衝 非歩行用

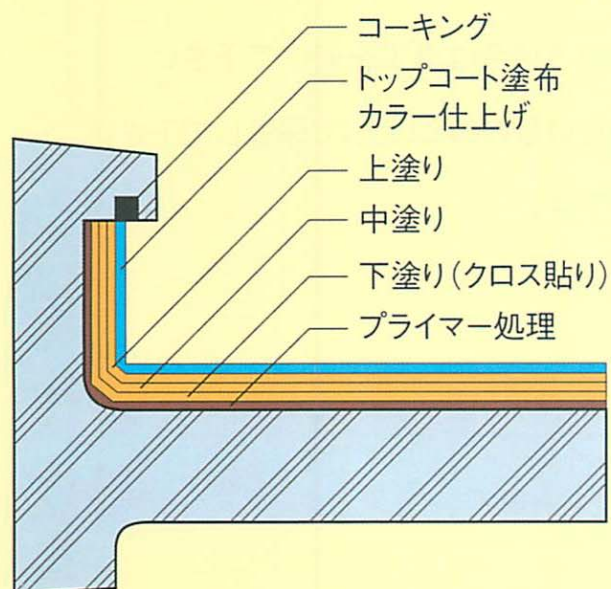
工程	作業	塗布量 kg/m ²	塗装間隔 20℃	配合比
下地処理	① レイタンス、塵埃、油脂などを完全に取除く。 ② クラック及び不陸は補修する。 ③ 下地の凸凹は樹脂モルタルで平滑にする。 ① カナエシート用接着剤を原液のままローラーまたは刷毛で均一に塗布した直後、カナエシートを貼り付ける。立ち上がり部分から5～10cm程度間隔を取り、途中歪み等が発生した場合はカナエシートを切断し、再度修正し貼り付ける。貼付け後、カナエシート上を空ローラーで転圧し密着させる。 ② カナエシート外周部を変性シリコーンシーリング材で押さえる。 ③ 立ち上がり面にはカナエシートを貼らずハイボンドクロスを貼り付ける (ハイボンド#300/ハイボンドP/水=18/15/3で施工する) カナエシートとクロスのラップ幅は最低10cm確保する。 ④ カナエシートを貼付け後、切り込みを入れ脱気筒を設置する (約50㎡当たり1個) ⑤ カナエシート継ぎ目部にカナエテープを貼り付ける。カナエテープを貼り付け部分に補強用ハイボンドクロスを貼る。			
カナエシート (通期緩衝シート) 貼付け				
中塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
上塗り	① ハイボンドコートの調合。(配合比参照) ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは左官ハケにて均一に塗布する。	1.00	4時間～	#300/P/水=18/15/3
トップコート	① ケートップライナー-CSKは無希釈で使用する。 ② 攪拌混合はマゼルで充分に行う。 ③ ローラーまたは刷毛で均一に塗布する。	0.15	24時間養生	無希釈

一 使用材料

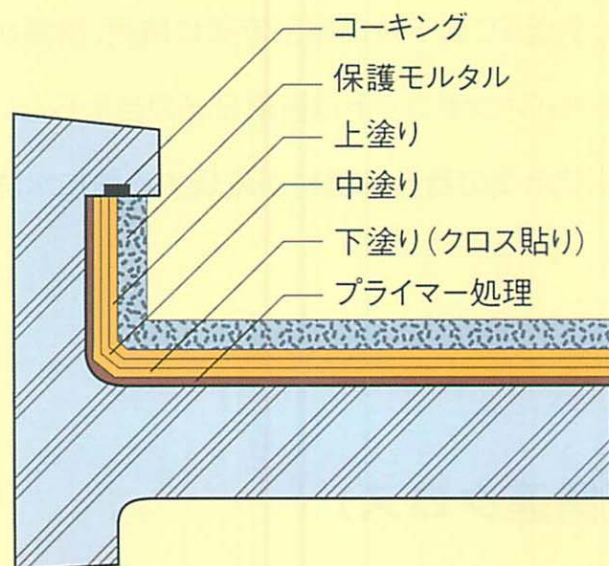
カナエシート用接着剤	18kg
カナエシート	1m × 50m 巻き
カナエテープ	7.5cm × 20m 巻き
補強用ハイボンドクロス	20cm × 100m 巻き
ハイボンドクロス 各種	104cm × 100m 巻き
ハイボンドコート	33kg セット (ハイボンド#300 (樹脂) 18kg + ハイボンドP (粉体) 15kg)
ケートップライナー-CSK	15kg

ハイボンドコート防水工法の納まり図

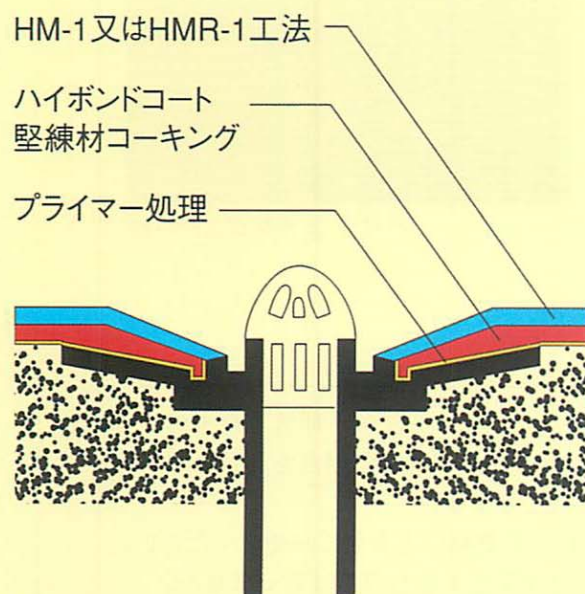
HMR-2工法（軽歩行法）



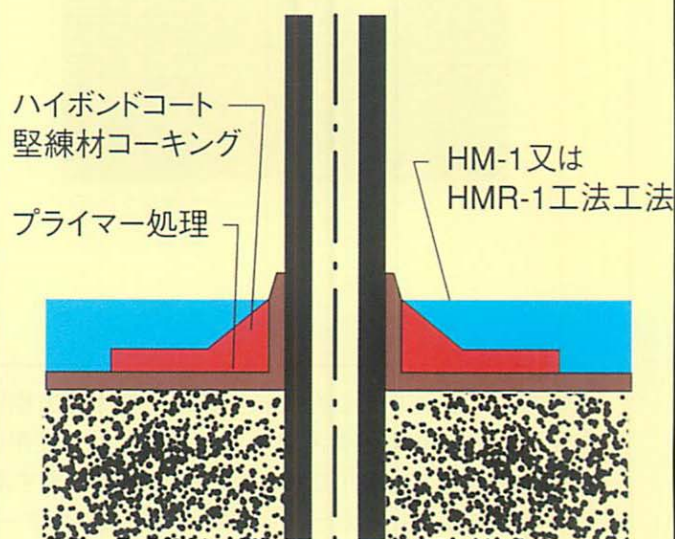
HMC-2工法（保護歩行用押え防水）



ドレイン廻り部



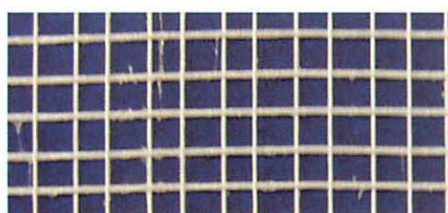
テスリ、パイプ廻り部



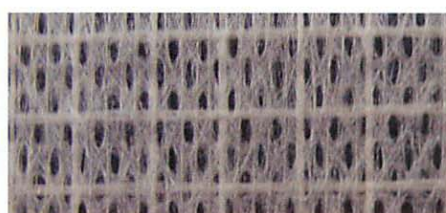
使用上の注意

- (1) 攪拌は充分行なって下さい。なお、必ず1工程施工乾燥後に次の工程に入って下さい。
- (2) 下地の浮陸、凹凸部は下地調整材で補修して下さい。
- (3) 伸縮目地及び亀裂の処理はコーキング材で充填、処理を行なって下さい。
- (4) 気温5℃以下及び施工直後に降雨、降雪が予想される場合は施工を避けて下さい。
- (5) ハイボンドコートは直射日光の当たらない湿気のない屋内(0℃以上)で保管して下さい。
- (6) 使用後の器具は塗材が乾燥する前に水洗いして下さい。

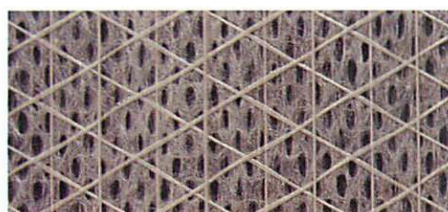
(関連クロス)



ハイボンドクロスG



ハイボンドクロスF2015



サンキープTNV2116A



ハイボンドクロスF4085

ここに記載しました技術資料及び標準処方例等は、当社において十分試験・研究したもので信頼しえるものであると考えますが、材料並びに使用条件等によりかなり相違する場合があります。従って需要各位でご試験・ご検討の上使用下さいますようお願いいたします。

実際の使用にあたってはMSDS（製品安全データシート）等を参照の上安全にお使いください。
また本文記載の用途は、いかなる特許にも抵触しないことを保証するものではありません。

カナエハイボンドコート荷姿及び関連商品

品 名	適 用	荷 姿
ハイボンドコート#300(液)	防水材及びプライマー	18kg缶入
ハイボンドコートP(粉体)		15kgケース入
ハイボンドコート#400(液)	防水材	18kg缶入
ハイボンドコート地下ピット用P(粉体)		15kgケース入×2
ケーシーラー	プライマー	18kg缶入
ハイボンドクロスG	ガラスクロス	104cm×100m
ハイボンドクロスF2015	不織布	104cm×100m
ハイボンドクロスF4085	不織布	102cm×100m
サンキーブTNV2116A	不織布	104cm×100m
ハイボンドトップ	軽歩行用トップコート(カラー)	20kg缶入
ケートップライナー	軽歩行用トップコート(カラー)	20kg缶入
ケートップライナーCSK	非歩行用トップコート(カラー)	15kg缶入
ヴィナールC-1	下地調整材用混和液	18kg缶入
HBC-100カチオン	下地調整材用混和液	18kg缶入
PC-CA(タイプL)	下地調整材(ポリマーセメントモルタル)ローラー塗り用	18kgセット入りケース
PC-CA(タイプMO)	下地調整材(ポリマーセメントモルタル)コテ塗り用	19kgセット入りケース

(本紙記載の数値は全て代表値であり、製品の性状並びに性能を保障するものではありません)

○カラー見本 ハイボンドトップ(標準色)

グリーン



グレー



・この色見本は印刷したものですから、
実際には違うことがあります。



力ナエ 化学工業株式会社

〒660-0086 尼崎市丸島町8番地-2

TEL 06(6418)1501 FAX 06(6419)2269

代理店用